

デイトタイム透析とオーバーナイト長時間透析のクロスオーバー比較

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○堀幸一郎 田口尚人 吉田衣里子 矢野利幸 高木伴幸 澤瀬健次 橋口純一郎 前川明洋 原田孝司
船越哲

【背景】

当院では2020年9月からオーバーナイト透析を開始したが、COVID-19の感染拡大により2021年5/7～6/7の間休止し、その後の感染者数減少とともに再開した。つまり、期せずしてデイトタイム4-5時間透析とオーバーナイト8時間透析のクロスオーバーを経験したので、これらの生化学データの推移や体重増加率等を報告する。

【対象】

当院オーバーナイト透析実施中の患者9名(男性8名、女性1名、平均年齢 54.8 ± 6.5 歳、平均透析歴 13.6 ± 10.3 年)

【方法】

オーバーナイト透析(平均透析時間8時間)と休止期間中のデイトタイム透析(平均透析時間4.5時間)の生化学データ、体重増加率、透析前後の血圧や透析中の処置回数を比較し評価を行う。

【結果】

オーバーナイト透析からデイトタイム透析に移行した際の生化学データは、BUN(65.8 ± 2.4)、Cr(13.2 ± 0.6)、K(4.9 ± 0.3)、P(6.0 ± 0.7)と有意に上昇した。その後再びオーバーナイト透析となった後には、BUN(56.4 ± 2.5)、Cr(11.1 ± 0.2)、K(4.7 ± 0.2)、P(4.7 ± 0.2)と有意に改善していた。血清Alb、GNRIおよび体重増加率、透析前後の血圧に有意な差は認められなかった。デイトタイム透析期間には血圧低下に伴う処置を要する回数が、オーバーナイト透析時の平均0.1回から1回へ有意に増加した。

【考察】

COVID-19感染対策のためにやむなくオーバーナイト透析を休止し、4週間後に再開し、結果的に標準的透析時間と長時間透析の比較をすることができた。今後は患者の安全を最優先しながら、オーバーナイト長時間透析の評価と普及に努めたい。